

広 報

ふじがわ

2月号

昭和55年2月20日発行

No. 223

町のメモ

昭和55年2月1日現在

人口	16,945人
増減	+ 15人
男	8,426人
女	8,519人
世帯数	4,252世帯
面積	31.09 ^{km²}

富士川町 総務課



町の今年の目標
「きれいな町にしましょう」

わしらも竹ぼうきで
きれいな町づくりに一役

(表紙のことばは2ページに)



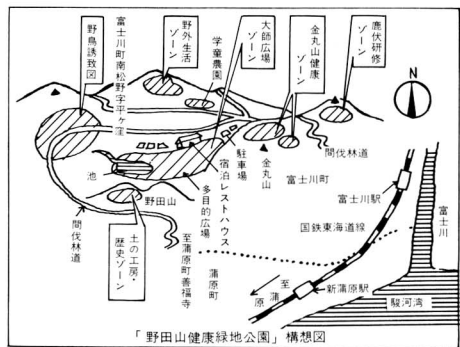
生れ変わる野田山周辺

一九七三年秋に発生した石油ショック以降、不況の続く中で、私たちの余暇の過ごし方が、金銭多消費型から時間多消費型に転換してきました。時間多消費型の余暇の過ごし方は、自然に親しむ志向、健康志向、教養文化志向、趣味志向旅行志向などで、私たち自身で生活の質を高めていこうとする意欲の現れではないでしょうか。また、このような健康的で健全な余暇利用は、八〇年代には、より一層、私たちの生活の中に定着すると思われまます。

そこで、町ではみなさんの余暇利用の動向を考え、みなさんも新聞等でご存知のように、野田山周辺の開発・私立女子短期大学の施設など、山地開発計画が進みつつあります。今月は、町が八〇年代に向けて計画しようとしているこの二大事業について話してみましよう。

野田山に健康緑地公園を

- 「野田山健康緑地公園」構想とは、野田山を中心とした町有地の自然環境を生かし、みなさんが健康づくりやコミュニケーションづくりに利用できる、約八十七万平方メートルの大きな緑地公園にしようというものです。
- この構想によると、公園を子どもから老人までが生涯スポーツや生涯学習に利用できる、機能別に分けられた、次の六つのゾーンで構成します。
- (1) 大師広場ゾーン (十五畝)
 - (2) 野外活動ゾーン (十二畝)
 - (3) 土の工房・歴史ゾーン (〇・三六畝)
 - (4) 金丸山健康ゾーン (十一畝)
 - (5) 野鳥誘致園 (十五畝)
 - (6) 鹿伏研修ゾーン (二・一畝)
- 多目的利用の芝生広場やスポーツ広場、野外センター、学童・ファミリー農園、宿泊センター
- (1) 大師広場ゾーン (十五畝)
- (2) 野外活動ゾーン (十二畝)
- (3) 土の工房・歴史ゾーン (〇・三六畝)
- (4) 金丸山健康ゾーン (十一畝)
- (5) 野鳥誘致園 (十五畝)
- (6) 鹿伏研修ゾーン (二・一畝)



現時点では、野田山周辺の調査が行われていますが、3月中旬には、この調査結果もまとまり、以後は、この調査結果をもとに、みなさんの意見も取り入れながら昭和55年度で、三、四年の充実した長期計画をたてる予定です。

また、これを実現させるために必要な事業費は、十五億円余りが見込まれるため、今後、林野庁の環境保全林整備事業の指定を受けるよう、国や県に積極的に働きかけていきます。

林野庁の生活環境保全林事業とは、治山事業の一環として、住民の憩いの場を兼ねた緑地公園を国が整備するものです。そのため、この事業の指定を受けられれば、町の遠大な計画も、実現の可能性が大となります。

表紙のことば

かぎあな老人クラブ福寿会(小林孝栄会長)では、毎年2月と6月の好天の日を利用して、全会員(現在十九人)がかぎあな集会場に集り、竹ぼうき作りを行っています。

この竹ぼうき作りは、昭和40年頃「町で喜んで使用してもらえるもので、私たちでも簡単に作れるものはないか」と、相談の結果、同地区に竹林が多い特性を生かし、始められ現在まで続いているものです。会員は、この日のために竹の枝を集めておき、一回に約四十本を作り、役場民生課の善意銀行に寄託します。

同銀行に寄託された竹ぼうきは、町内の小中学校・幼稚園・保育園に送られ、子どもたちがグラウンドの清掃などに大切に使用しています。竹ぼうきを作りながら、あるお年寄り「これはめばいはい悪いが、丈夫には丈夫だよ。せかせかしている若い連中にはできないだろうね」と、慣れた手つきで、作業を進めていました。

この竹ぼうきが子どもたちの手に渡るのも間近でしょう。

80年代に町の山

わが町も「学園都市」に

以前、庵原郡の県立高等学校誘致候補地にも挙げられた、当町中之郷矢久保のミカン山が、今年になり、再び「富士ソフィア女学院短期大学」の建設用地としてクロージングアップされました。同短大建設計画者は、窪田二郎氏(南富士病院長・富士宮市在住)で、数年前から岳南地区に女子大学を建設しようと、候補地の選定を行っていましたが、このほど同地区が、環境、交通の便、将来規模の拡張が可能などの諸条件にマッチしたため、建設用地に選定されたのです。

本年1月31日に開かれた町議会全員協議会の席上、窪田氏は「全人格的女子教育を行い、地域文化の向上、産業経済の発達、そして健康な家庭づくりに寄与したい。そのため二年間の専門的職業教育に重点を置き、女子教育で遅れている社会科学の分野で特性を生かした教育を行い、有能で自覚ある人材を育てていく全国でもユニークな特性をもつ女子短大にした」と述べています。

また、計画によると、同短大は二年制の社会科学(法律専攻と社会科専攻の二コース)を設置、総定員二百人(一学年百人)で法学五

十人、社会科学五十人)とし、中学校社会科教諭、国家公務員中級職受験資格、司法試験一次試験免除税理士・行政書士・司法書士受験資格などが取得でき、専任十一人非常勤二十人の教授陣が予定されています。さらに昭和57年4月の開校時には、文部省(大学設置審議会)の基準に基づき、三千坪の敷地でスタートするが、近い将来には、一万五千坪に規模を拡張し、四年制の大学に、大学院もと考えています。

これを受け、同協議会は「ミカン不況の折、山地開発にもなり、また、町民の文化・教養の向上にも好影響が得られ、町の総合計画にも合致する」とし、誘致賛成を決議しました。これにより、今後、土地買収など用地決定を行い、7月には大学設置審議会へ設置申請を提出など、昭和57年4月開校を目指し、短大建設計画は進められていきます。

また、町もこれに合せ、同地区が農業振興地域に指定され

ているため、この指定から除外してもらおうと県への申請、文部大臣へ短大設置への配慮を願う要望書の提出、通学路となる道路網の整備を積極的に進めていきます。

昭和57年にこの短大が完成すると、私たちの町「富士川町」も、一躍「学園都市」の仲間入となるわけです。

※農業振興地域とは、昭和44年9月から施行されている「農業振興地域整備法」により、指定された地域のことをいいます。

この法律制度は、今後の農業を振興する地域を明らかにし、農業上の土地利用の方向を定めると同時に、その地域が、名実ともに近代的な農業を行なう条件である土地基盤の整備、農地保有の合理化、農業の近代的施

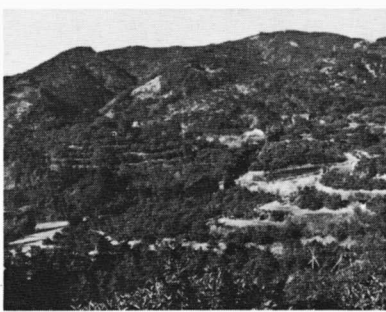
みなさんの協力でよりよい町づくりを

先に話した以外にも、八〇年代に向け、町には、地域医療の中心となる共立蒲原総合病院の移転用地に決定された大栗窪の開発、県道富士川―身延線バイパスの全線開通、松野中野地区への優良企業の誘致、中央公民館の建設、富士川右岸の三町共同緑地公園化事業など「明るく豊かな住みよい町づくり」のための計画があります。

しかし、これらの計画は、みなさんの理解と協力がなければ、とても実現できませんし、これからの事業というものは、行政だけでなく企画立案しても、みなさんが十分満足できる事業はできません。それだけ、私たちの行政に対する要望は、多種多様にわたっているからです。

八〇年代のわが町「富士川町」に生きる私たちは、より一層、町政に関心をもち、私たちの声を反映した「町づくり」を行っていかなくてはなりません。

このミカン山が女子短大のキャンパスに



このミカン山が女子短大のキャンパスに

松野と富士宮を結んだ

“舟戸渡船”今昔

富士川の渡船は「郷土教育資料」によると慶長7年（一六〇二年）から、徳川幕府の命により、岩淵村が行っていました。このことはみなさんも知っているでしょう。当時は軍事上の問題などで、富士川の渡船はここだけしかなかったのです。しかし、明治時代になると、松野地区でも渡船を行われるようになりました。

そこで、今月の広報「ふじかわ」では、舟戸（北松野大北町）で実際に渡船を行っていた佐野貞徳さん（大北町）に、渡船についてのお話を聞いてみました。



佐野貞徳さん（70歳）

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん はっきり分らないが、明治になってからだね。わしが知っている船頭をやった家で、だいたい三代つうもんだからね。

場所は、ほれ、今の蓬来橋とせんの吊橋の中間あたりで、こっちは砂場だもんで港になっていて、あつちはコンクリートで船着場こさえてあつたね。今ははい流されちまつてないけんどもね。

「おじいさんが船頭を始めたのはいつごろですか？」

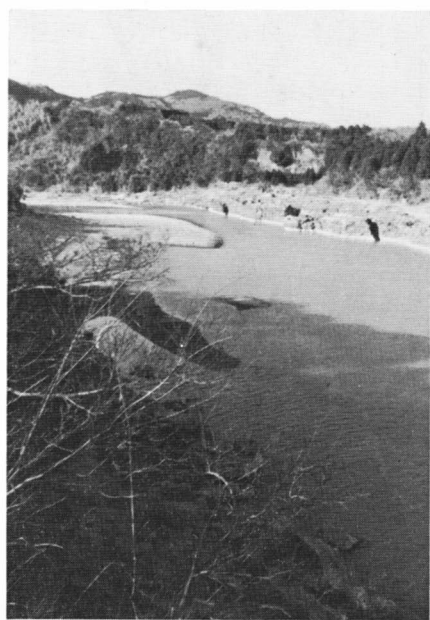
佐野さん わしの親父は商人だつた。昔やあそつた。昔やあそつた。昔やあそつた。

「川かんじいと渡船とは関係があるんですか？」

佐野さん ありやあ水死した者を供養しているもんだから、別に関係はないね。渡船で死んだ者もないし、渡船にやあ守り神もなかつたもんで、船頭やる日にやあ仏さんに線香あげて出たよ。いっぺんも欠かしたことはないね。

「昔と現在とでは富士川は変わりましたか？」

佐野さん 砂利を採るようになってから、川の水位が低つて随分と変わったね。大きな岩が元をさらわれ流されていってなくなつた。ほれ、舟戸の上にあつた赤岩もなくなつちまつたからね。あの赤岩が船を出す頃らあ邪魔なつたね。話はあるけんども、渡船をやつた昔やあ、富士宮の方に親類なつた。



現在の舟戸付近（蓬来橋より）

けんども、そこいら行商にいいんの家をあける時が多く、そんな時年寄りのおじいさんから教かつて越し始めた。大正12年で十五ん時からだ。昭和26年に吊橋ができ一時休んだけんども、昭和29年に台風で橋が切れて、二回目をやつた。ふん当によしたのは昭和34年に今の蓬来橋ができからだね。

若い頃らあ、船に船頭が二人乗つて、一人が舵を取つて、わしが助手で舟の鼻つ先をつつからしたり金を取る係をやつた。その頃らあ船頭が八人くらいいただね。甲州の上り下りの船頭が松野に婿にきてやつた者が多かつたよ。

「竿を使って川を渡っていたんですか？」

佐野さん なーに、昔やあそつた。昔やあそつた。昔やあそつた。

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん はっきり分らないが、明治になってからだね。わしが知っている船頭をやった家で、だいたい三代つうもんだからね。

場所は、ほれ、今の蓬来橋とせんの吊橋の中間あたりで、こっちは砂場だもんで港になっていて、あつちはコンクリートで船着場こさえてあつたね。今ははい流されちまつてないけんどもね。

「おじいさんが船頭を始めたのはいつごろですか？」

佐野さん わしの親父は商人だつた。昔やあそつた。昔やあそつた。昔やあそつた。

「川かんじいと渡船とは関係があるんですか？」

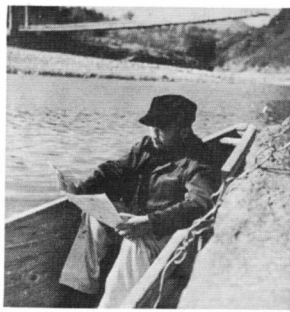
佐野さん ありやあ水死した者を供養しているもんだから、別に関係はないね。渡船で死んだ者もないし、渡船にやあ守り神もなかつたもんで、船頭やる日にやあ仏さんに線香あげて出たよ。いっぺんも欠かしたことはないね。

「川かんじいと渡船とは関係があるんですか？」

佐野さん ありやあ水死した者を供養しているもんだから、別に関係はないね。渡船で死んだ者もないし、渡船にやあ守り神もなかつたもんで、船頭やる日にやあ仏さんに線香あげて出たよ。いっぺんも欠かしたことはないね。

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん はっきり分らないが、明治になってからだね。わしが知っている船頭をやった家で、だいたい三代つうもんだからね。



吊橋が切れ二回目の渡船

うするところでも渡れないもんで富士宮の方の葬式や祝言に行く者がいるとやつば人情で越えちまつたね。そんな時やあ、とも綱はずして竿で越えてくもんで、向う側に着くやあ、沼久保の岩尻の辺だつたね。帰りやあ、あつちの船着場まで船を引っぱり上げ、また流されながら越えてくるだけけんども、それがおつかなくて今でも夢にみるね。吊橋が切れて二回目にやつた時やあ料金はただだつたね

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん はっきり分らないが、明治になってからだね。わしが知っている船頭をやった家で、だいたい三代つうもんだからね。

「川かんじいと渡船とは関係があるんですか？」

佐野さん ありやあ水死した者を供養しているもんだから、別に関係はないね。渡船で死んだ者もないし、渡船にやあ守り神もなかつたもんで、船頭やる日にやあ仏さんに線香あげて出たよ。いっぺんも欠かしたことはないね。

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん はっきり分らないが、明治になってからだね。わしが知っている船頭をやった家で、だいたい三代つうもんだからね。

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん はっきり分らないが、明治になってからだね。わしが知っている船頭をやった家で、だいたい三代つうもんだからね。

「川かんじいと渡船とは関係があるんですか？」

佐野さん ありやあ水死した者を供養しているもんだから、別に関係はないね。渡船で死んだ者もないし、渡船にやあ守り神もなかつたもんで、船頭やる日にやあ仏さんに線香あげて出たよ。いっぺんも欠かしたことはないね。

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん はっきり分らないが、明治になってからだね。わしが知っている船頭をやった家で、だいたい三代つうもんだからね。



今はこの風景は見られない

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん ありやあ水死した者を供養しているもんだから、別に関係はないね。渡船で死んだ者もないし、渡船にやあ守り神もなかつたもんで、船頭やる日にやあ仏さんに線香あげて出たよ。いっぺんも欠かしたことはないね。

「舟戸で渡船が始まったのはいつ頃ですか？」

佐野さん はっきり分らないが、明治になってからだね。わしが知っている船頭をやった家で、だいたい三代つうもんだからね。

図書館はあなたを待っています ～新刊紹介～

あなたは余暇をどのように過ごしていますか？
たまには町立図書館に出掛けてみませんか。図書館は、平日は12時から19時まで（月曜日は休館）、日曜日は11時から17時まで開館していますよ。

今年も、あなたのために約三百四十冊の書籍を購入しました。ほら、テレビばかり見てないで、読書をしなさい、読書を本棚にただ眠らせておく手はないんだから。中にはあなたが気に入った本があるかもよ。

じゃあ、今年購入した書籍から少し紹介してみますね。

〈論説〉
ジャパン・アズ・ナンバーワン 不確実性の時代、他

〈歴史〉
批評日本史（全六巻）人物日本の女性史（全十二巻）他

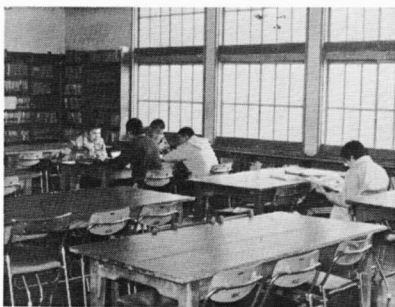
〈芸術〉
日本の古典（全十巻）

酒恋うる話、随筆石仏の里にて

奇談の時代、他

〈文学〉
新田次郎全集（十二巻）エーゲ海に捧ぐ、伊達正宗（全八巻）青春の門（望郷篇上）やまあいの煙、鮎のうた（上）中央流沙不毛地帯（四）新潮社版日本文学全集（五十八巻）亭主の家出続・おばあさんの知恵袋、徹子の部屋、テレビ寺小屋、わがカラテ革命、オレンジ色の愛たち沿線地図、自伝抄（全五巻）他

〈児童〉
おぼけの話・二・三、世界の名作文庫（全二十巻）ポプラ社版古典文学全集（全二十六巻）宮沢賢治童話全集（全十二巻）集団あそびの十二月、造形あそびの十二月、新日本風土記日本に生きる（全十二巻）他



友だちと読書も楽しいよ

- 今回は、お母さんを対象とした台所でできる「洗い物トリム・ワン・ツウ・テン」の運動を紹介いたします。
- さげたものを台所で洗い、ふく時はほとんど同じ場所に立ちっぱなしのお母さん。水道の蛇口をひねってほんの数秒待つ間、次の運動をとり入れてみましょう。あなたの疲れをとり、スタミナをつけるのに役立ちます。
- 1) 自分の好きなメロディを口ずさむ。
 - 2) 思いきり顔の百面相をつくる。
 - 3) 舌を「あかんべー」式に強く出す。
 - 4) 両肘をまげたまま、ゆっくり胸をそらせる。
 - 5) 両腕をのぼして上に体を引き上げるようにする。その時、首は亀さん式に引っ込める。
 - 6) 両足を揃えて立ち、腰から上は余り動かさず、ひざの円運動をする（左回り、右回り）。慣れるにつれて大きくする。
 - 7) 手の平の凹み、指の付け根を反対側の手の親指の腹でよく指圧する。
 - 8) 右手で左手首、左手で右手首をがっちり握り、少しづつ握りを上にずらして肩口付近まで押さ

トリムあれこれ

(その二)

える。手首から肩と二方通行にする。

(9) 二十秒ぐらいに足を開き、片足ずつ後ろに振りあげる。始めは膝をまげて、かかとで自分のお尻をたたくようにけり上げてみるのもよい。

(10) 足を肩幅に開き、両方の手の平

にお皿をのせたようなつもりで膝をまげてしゃがみながら深呼吸をする。

ここにあげた(1)～(10)の簡単な運動は、昔からの健康法として、背柱の歪みを正し、血行をよくし、コンディショニングを整え、スタミナをつける効果があるとされています。洗い物や食事のしたくをしている時でもできるので活用してみてください。

洗い物トリム



グループ紹介 消費生活に一役

消費生活研究部々長 小川慶子

今さらいうまでもなく、経済成長のみかえりとし、私たちの消費生活をとりまく危険は、日ごととその度を増し、したがって問題も限度がありません。豊かな生活の病理現象といえましょう。この中で消費者保護が大きくクローズアップしていることは、みなさんよく知っているところです。

県庁西館には、消費生活センターがあり、消費者協会も設置されています。富士川町でも「消費生活研究部」が発足しました。昭和53・54年度県主催の「消費者リダー養成講座」および「通信講座」を受けた者、また町消費者モニターを務めた者など、十八人が核となり、婦人会組織の中で、自

主的に活動を進めていきたいと思っています。豊で、健康で、安全な生活を求め、地域の消費者（生活者）が要望している課題や問題に取組、町民のだれもが参加できるように活動を広げていく拠点となることを目的とし、婦人会館を運営の軸に展開していきたいと思っています。

活動内容としては――

◎安全な商品の調査、斡旋
現在は、洗剤の使用量についてアンケート調査、無公害洗剤の販売を行っています。

◎地域活動の輪を広げる
他団体、グループ、一般町民との連携を図り、地域活動を促進します。

◎消費生活苦情相談の受付
各地区に連絡員を設け、そこを窓口として、苦情相談を行います。

相談員は――
斎藤すみえ 旭町
小林 正子 幸町
小林とし子 八幡町
小川 慶子 儘下町

◎会員の研修とPR
毎月一回、第二土曜日に定例会をもち、地域の情報を集め、問題を提議し、会員の意識を高め、研修を行います。

PRは、婦人会組織を通してまたは、町発行の広報に掲載を依頼していきます。

私たち一人ひとりが自分の生き方を大切に、今日より明日と、毎日の生活を少しづつ変え、富士川町民として自分の立場から「きれいな町づくり」に参加したいと思えます。

福祉の豆知識

(その十)

心身障害者の福祉（V）

身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けた身体障害者のみなさんの、経済的負担の軽減について説明してきました。年金制度・手当制度等・税法上の配慮について、理解いただけましたでしょうか。

今回で最後になりますが、その他の主な経済的負担の軽減について説明します。

■国鉄の運賃割引
付添人が同行する重度障害者の普通運賃、急行料金、定期運賃等については、本人、付添人とも五割引。ただし、自動車線の定期運賃については三割引となります。

障害者が単独で百円を超えて乗車する場合の普通運賃の場合五割引となります。

十二歳未満の軽度障害者が定期券を利用して付添人とともに乗車する場合の付添人の定期運賃については、五割引。ただし自動車線については三割引となります。

■有料道路の料金割引
歩行機能等が失われている身

世帯更生資金の貸付

身体障害者更生資金として次の区分で資金が融資されます。

生業費として六十万円以内、支度費として五万五千円以内、技能習得費として、毎月一万円以内。

以上の手続については、民生課福祉係が窓口となっていますのでお問合せ下さい。

その他に、点字郵便物および盲人用録音郵便物についても無料扱いとなります。

また、障害者の同居する世帯に対して、住宅金融公庫の割り増し融資等の制度があります。これで、福祉の豆知識の掲載を終り、次回より、保健婦にパトントンタッチし、みなさんの健康保持の豆知識について掲載します。



